即興　―病窓つれづれ―

土田　舞山

さくらの日俄(にわ)かな入院スケジュール狂い焦るも身に替えがたし
息子らの気遣い嬉しく快復す知る人と語るしじまの楽しきことよ
二キロも痩せて院内歩行六千歩試むやればやれるものなり
六Ｆからの夜景にみほれ飛機の灯ゆったり流るは衛星と紛(まぎ)らう
東雲(しのめ)の紅に染まれる澄んだ朝しずかに静かに陽射しつよまる
退院は新元号の決る日よ大正のわれ亦「令和」を生きぬかん
十日も見ぬに河津は葉桜ソメイヨシノは爛漫の花盛りなり
声張り上げて詩を一吟こころ澄みて天にひびく思いす